

# DV被害者と子どもの支援

～女性支援と子ども支援の連携を深めるために～

第180回CA研では「DV被害者の理解～心身の暴力がDV被害者・子どもにもたらすもの～」をテーマに、DVの子どもへの影響の大きさと児童虐待と並存する可能性が大きいことなどを学びました。今回もDV支援と法改正に深く関わっておられる戒能民江氏を講師にお招きして、法改正のポイントとDV家庭の子どもの理解と支援、及び女性支援と子ども支援の連携の課題について学びます。講座の終了後には講師を囲んで参加者の交流会も予定しています。ご参加をお待ちしています。



テーマ

**DV被害者と子どもの支援 ～女性支援と子ども支援の連携を深めるために～**

講師

**戒能 民江氏** (お茶の水女子大学 名誉教授)

戒能先生は、性暴力禁止法を作ろうネットワーク共同代表、女性と人権全国ネットワーク共同代表、被害者のためのDV法を求める全国連絡会共同世話人などの多くの活動と、1992年「夫(恋人)からの暴力」調査研究会メンバーとして日本で初めてのDV実態調査を実施されるなど、DVをはじめ困難を抱える女性の支援現場の実態を踏まえ整備を進めてこられました。専門はジェンダー法学。2002年山川菊栄賞、06年平塚らいてう賞受賞。著書は『ドメスティック・バイオレンス』不磨書房.2002、『危機をのりこえる女たち』(編著)、『婦人保護事業から女性支援法へ』(共著)など多数。

開催日時

会場開催日時：2023年11月18日(土)14時～16時 (会場参加者はオンデマンド配信も視聴可)  
オンデマンド配信期間：2023年12月1日(金)11時～2024年1月15日(月)11時

開催会場

エル・おおさか7階708 〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 TEL:06-6942-0001

対象者・定員

子どもと保護者に関わる支援者・専門職 定員：会場参加50名 オンデマンド配信100名

受講料

APCA正会員：無料 賛助会員・非会員：2,000円 (会場参加・オンデマンド配信 共通料金)

申込受付期間

2023年9月11日(月)11時～11月10日(金)11時  
※オンデマンド配信申込みは11月30日まで (定員になり次第締め切ります)

申込方法

受講をご希望の方は、右上のQRコードの読み込み又はURLで**申込サイト『Peatix』**から申し込んでください。ホームページ<https://www.apca.jp>からも同じ方法で申し込めます。組織や公費での受講も受付けています。ご不明な点は、下記【APCA】までお気軽にお問い合わせください。

録画オンデマンド配信参加URL  
<https://181ca-rokuga.peatix.com/>

Peatix QRコード



会場参加 Peatix QRコード URL <https://181ca-eruosaka.peatix.com/> オンデマンド配信も視聴できます



主催：認定NPO法人 児童虐待防止協会【APCA】

電話：06-6646-4858 FAX：06-6646-4884

Email：[manabi-i0189@apca.jp](mailto:manabi-i0189@apca.jp)



「DV対応の現状  
と体制及び施策の展  
開」子どもの虹情報研  
修センター紀要  
No17(2019)から

DVは暴力を手段とした相手の支配・コントロールであるが、配偶者や交際相手だけではなく、しばしば、加害者の支配とコントロールは子どもを含めた家族構成員へと向けられる。

近年明らかにされてきたのが、DVの精神的健康への影響の深刻さである。精神科医を中心とした研究では、VDの子どもへの影響が大きいこと、児童虐待と並存する可能性が高いことなどが明らかにされ、国際的にはDVは子ども虐待と一体とされている。

子どもがDVを目撃した場合は「面前DV」としての心理的虐待になるが、DVの被害者とは位置付けられていない。唯一、「同伴家族」としてDVセンターによる一時保護の対象となるだけである。子どもはDV被害者の「同伴児」ではなく、独立した被害者であることを明記する必要がある、子ども独自の保護命令申立権を保障すべきで

調査によると一時保護利用者中「同伴児童あり」は49.5%と半数であり、幼児が同伴児童の半数以上を占める。入所時の子どもの被害状況調査では父親からの虐待が把握されている。実際、子どもへの危険を避けるために子ども同伴で逃げてくるDV被害者が多く、その場合は、子どもの安全が同時に確保されていることがわかる。

ただし、一時保護入所中の支援プログラムがあまりにも未整備であり、危険度判断や安全プラン、支援ニーズの把握、支援計画・支援方針策定のためのアセスメントが全ての一時保護所で行われているわけではない。ましてや、子どもの独自の支援プログラムや親子同時に行われ

## 支援者の声から・・・

DVで支援機関を経由して転入してきた妊婦さんを地域で支援をしたが、過去の支援者と情報交換がもっとできればと思った。

保育所でお母さんのDVの相談を受けても、話を聞くことと警察や女性相談の情報提供しかできなくてもどかしい。

以前よく「××県に逃げれば助かるかもしれないが、△△県だと危ない」と支援者から聞いたことがある。

戒能先生のお話をお聞きして、自分たちの活動を振り返り、今後の実践に活かしていきたいと思います。

## 【第180回CA研のご案内】連続講座その1

2023年度のCA研は、子どもの心理的虐待とDVについてシリーズで取り上げています。ぜひ引き続きご参加下さい。オンデマンド配信します。

テーマ「DV被害者の理解」

～心身の暴力がDV被害者・子どもにもたらすもの～

講師：戒能民江氏（お茶の水女子大学名誉教授 法学者）

日時：2023年10月21日（土）14～16時

場所：エル・おおさか 709

対象者・定員・受講料：第181回CA研と同じ

申し込み方法：ホームページをご覧ください。

<https://www.apca.jp>

APCAホームページ  
QRコード



APCA  
Child Abuse  
研究会(CA研)  
について

児童虐待防止協会(APCA)の研修は、子ども虐待を生み出さない社会を目指して、子ども虐待に関わる多様な専門職・支援者が、所属機関や職種の立場を超えて、互いに学びあう場、つながりあう場となることを目的に開催しています。Child Abuse研究会(CA研)は、1990年の本協会設立以前から、子どもの虐待に関わるその時々課題を学びあい、新たな取り組みを共有し、課題の改善に向けて定期的に開催しています。

主催：認定NPO法人 児童虐待防止協会【APCA】

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-14-10 松竹ビル6階C号室

電話：06-6646-4858 FAX：06-6646-4884 Email：[manabi-i0189@apca.jp](mailto:manabi-i0189@apca.jp)

APCA=The Association for  
the Prevention of Child Abuse  
& Neglect